

## 銀座で昔の面影や史跡を巡る散歩

三軒茶屋で銀座というと、最近は「三茶」や「なあど」と呼ばれている辺りは、昔、三軒茶屋銀座と呼ばれていたことを覚えている方も多いと思います。現在では三軒茶屋銀座の面影は、下北沢行きのバス停の名前に残っている程度です。繁華街の代名詞「銀座」で、昔の面影や史跡を巡る散歩をするのも、楽しいものです。



銀恋の碑

銀座駅のC4出口を出ると、数寄屋橋公園に出ます。数寄屋橋交番の裏手には、関東大震災十周年記念碑「燈台」があります。この彫刻像は長崎平和記念像を作成した北村西望の作品だそうです。台座には「不意の地震に不斷の用意」と彫られています。現在にも通用する標語で、心しいものです。交番の右には、「銀座の象徴 柳並木の碑」と、隣に黒光りした石碑があります。覗き込むと、デュエットソングの定番、「銀恋」(銀座の恋の物語)の歌碑で、歌詞と楽譜が刻まれています。

柳並木の碑は、明治十一年頃、銀座通りには柳の木が植えられ、歌にも歌われ、銀座のシンボルとされましたが、

戦時中柳は焼失し、他の木が植えられていましたが、西銀座通りの歩道拡張時に並木を元の柳に代え、銀座のシンボルが復活したとのことです。数寄屋橋交差点で晴海通りを渡り、東急プラザ銀座の右手の公園の中に、「数寄屋橋」の碑があります。昔は外濠があり、そこに架けられていたのが数寄屋橋で、往時の姿を偲んで、碑には「君の名は」の作者 菊田一夫が書いた文字「数寄屋橋ここにあります」

と刻まれています。この公園の奥には大阪万博の太陽の塔を思わせる時計台が建っています。作者はやはり岡本太郎です。時計台に向かって右手にいき、細い路地を進むと、広い通りに出ます。その左手に泰明小学校があり、校門脇の碑は詩人の北村透谷と作家の島崎藤村が卒業生だということから造られたそうです。島崎藤村は木曾馬籠の出身で、親戚の家から通学し、卒業したとのことで、校舎には、創立百四十年の文字が。やはり歴史を感じさせます。その道をそのまま進んで、銀座西五丁目の交差点を渡り、並木通りに出たら右折ロレックスが入っているビルの前には石川啄木の歌碑があります。没後六十周年を記念して、朝日新聞社跡地に建てられ、刻まれている歌は、記者時代、原稿の締め切り時の忙しさを歌つたものです。又、碑の裏には啄木鳥(きつつき)が彫られているのも、面白いです。銀座八丁目交差点の中央通りを渡り、さらには右に渡った先に、「銀座の柳」の歌碑があり、その横には新橋の親柱が建っています。昔はここに新橋が架かっていましたが、埋め立てに伴い、証のために親柱が残されたといふことです。又、信号を渡つて戻り、中央通りを銀座二丁目方面に進むと、ティファニー銀座ビルの前には「銀座発祥の地」の碑があります。銀座という地名は江戸幕府が「銀貨鑄造所」を駿府からこの地に移し、銀座役所を設置したことに由来すると碑に記載されています。銀座という名がついた場所をよく耳にしますが、そのきっかけは、関東大震災の後、銀座で取り壊されたレンガが、古くから商店街「戸越」の排水設備の修理に利用され、その縁で初めて銀座という名が付いた「戸越銀座」となり、その後各地に広まつたようです。銀座には他にも多くの碑がありま

す。さて、どこに行こうかなとパンを食べながら家人にきこえるように話しかけますが、娘の反応は……？  
東京タワーは、昭和三十三年クリスマスにその姿を現してから今年で六十年、人間でいう還暦を迎えます。昨今の高層ビルラッシュ等により景観があつと言ふ間に変わつてしまふ今、ここは高台でも坂道でもありません。たとえ先端部分だけとはいえ、こんな所から六十多年もの間ズットその姿を変わらず見せていてくれたのは、奇跡的で感動すら覚えます。東京タワーは電波塔で、一九六四年の東京オリンピックを、国内外に発信し、その後は国行事や記念日の度に照明の色を変え、私たちの目を楽しませてくれています。そんな事を思いながら、夏の夜の散歩を楽しんではいかがでしょうか。懐かしい思い出がよみがえってくるかもしれませんよ。



八幡神社近くの通りから

太子堂小学校北側通りから

### 行事報告

- 3月30日 歩こう会 (19名参加)
- 6月2日 春の古着・古布回収事業 (6,750 kg回収)
- 7月7日 ふれあいボウリング大会 オークラボウル (62名参加)

### 行事予定

- 7月21,22日 太子堂サババッキンチャンボ (太子堂中学校)
- 8月25日 太子堂ふれあいまつり (太子堂小学校)
- 9月15日 太子堂中学校防災訓練 (D型ポンプ講習)
- 10月13,14日 太子堂八幡神社 祭礼

## 品川の水族館に行つきました

六月のある晴れた日、「今日は何をして過ごすかな？」と手帳を見ながら楽しんでいます。さて、どこに行こうかなとパンを食べながら家人にきこえるように話しかけますが、娘の反応は……？  
今日は晴天なので、出来るだけ人ごみの少ない所を探して、娘と品川の水族館に行くことにしました。

大井町の駅前のバス停では、子ども達が今かと待っていました。やがて、イルカが描かれた青いバスが来て、皆が乗り込んだところで「出発」です。子ども達は早々にアニメの合唱を始めました。大人達はやかましいのを我慢して、「お上手、お上手」と水族館まで褒め続けました。

「おばあちゃん」急に横から男の子が声をかけてきました。「どうして寒い所のお魚は黒くて大きいのに、きれいなお魚は小さいの？」と聞いてきました。私はわからないので、「入口にいるお姉さんに聞いてみたら」と返事をしておきました。  
きっと、イルカやペンギンを観てているうちに疑問がわいてきたのだと思いました。私が説明できたら良かつたのになあと思いつきました。  
(ミニコミ K・S)

みてはどうでしょうか。(ミニコミ S・U)